

## あざみ沢通信

第32号

H29年度第1号  
長野県野沢北  
高等学校  
PTA広報委員会

## 前期を振り返って

PTA会長 横山 俊介



この度、平成29年度 野沢北高校PTA会長に就任いたしました横山俊介と申します。昨年度、多くの実績を積み重ねてこられました岡田氏の後任を務める重責を感じております。前会長の功績を無にするのではないよう、先生方、保護者の皆さまのお力をお借りしながら、1年間の職責を果たしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて昨今、「AI（人工知能）」という言葉がメディアに登場しない日はございません。自動運転技術に代表されるAIは、この先、人間の頭脳を凌駕し、社会の様々な仕事を自動化すると言われています。米オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン博士にして、今後、20年の間に、アメリカの仕事の約半分が自動化されると言わしめたことは有名な話です。他方、日本は先進国の中でも最も早いスピードで少子高齢化に突き進み、労働力人口の減少も現実のものとなっています。そうした時代の流れの中で、「人間の仕事がロボットに奪われる」という危惧が生まれるのは当然でしょう。

しかし私は、人間にしかできない仕事があると考えています。例えば、膨大な量のデータを蓄積できても、それをどのような仕事に活かせば良いのか、アイデアを創出することはAIにできませんし、行動をインプットされなければ、自発的に働くことができません。極端な話、スイッチを誰かがONにしなければ、AIは動くことすらできないのです。その点、人間は違います。人間は、みずから学び、考え、動くことができます。誰かにスイッチを入れてもらわなくても、自発的に行動することがができるのです。もちろん、人間ですから失敗もします。しかしその失敗

を糧に、さらに成長することだってできます。

また、AIには顔認証はできても、人の心まで読み取ることができません。しかし人間は、相手の感情を読み取ることが出来ます。相手を喜ばせようと努力し、相手を悲しませないよう自分を諷め、皆で心をひとつにし、共通の目的に向かって歩むことができます。協力、団結、友情、絆……。使い古された言葉ではありますが、人間だからこそこうした言葉の大切さが理解できるのです。もちろん、自発的に学び、考え、行動し、他者と協力して目的を達成できる人物になるためには、たくさんの経験が必要です。

生徒の皆さんの中には、保護者の方に「やる気スイッチ」を押してもらわなければ勉学に身が入らないという人もいます。あるいは、まだ人の感情を読むのが苦手だ、気の合わない人と作業をするより、自分のペースで進めたほうが気が楽だという人もいます。だからこそ、野沢北高校の生徒さんには、今のうちにたくさんの経験や失敗をし、その中から教訓を得て、大きく成長してほしいと願っています。そして保護者の皆さまには、それを応援していただきたい。私たちが子どもたちに与えられる最大の贈り物は「成長の機会」だと私は思っています。

最後に、人間にできてAIにはできない最たること、それは「想像」です。AIに予測や分析はできても、想像をすることはできません。生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆さま方も、想像をしてみてください。未来の自分を、家族や友人の未来を、日本の未来を、そして地球の未来を。想像することは実現の第一歩です。これから1年間、先生方、保護者の皆さま、そして生徒の皆さんと協力し、子どもたちが輝かしい未来を想像しうよう学校運営を行うべく、PTA役員一同、精進してまいります。至らぬ点もあろうかと存じますが、ご理解のうえ、ご指導並びにご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

あえて失敗させる。  
あえて挫折させる。

学校長 田澤 直人



日ごろから本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私、この四月より、伝統ある野沢北高等学校に着任しました田澤直人と申します。よろしく申し上げます。

さて、表題についてです。

京都大学の総長を務められた松本紘先生は、その著作『京都から大学を変える』（祥伝社新書）の中で、「近年、特に気がかりなのは、学力はあっても、精神的に脆い学生が増えている点です。」「レールの上を走るの是非常に優秀で即応力もあるのですが、すこしでもレールから外れると、とたんにうまく走れなくなる。何か問題にぶち当たると、それを乗り越えられない。大学生活や社会生活に不適応を起こしてしまう。そんな学生が増えています。』（一八頁）と書かれています。

また、この八月に本県の高等学校長会で講演をお願いしました埼玉県立浦和高等学校の杉山剛士校長先生のお話の中に、「チャレンジすることの意味（あえて失敗させる。あえて挫折させる。）」失敗を恐れてチャレンジしない生徒の意識、失敗することを認めず、また、失敗しないように先回りする風潮、「生徒から見ても『チャレンジ精神の涵養』と安心して失敗できる『失敗を許容する学校文化の醸成』が必要」とありました。

さらに、本校の今年八月実施の推進会の中で、ある卒業生が、「なるべく多くの失敗をすること」をすすめ、「若い時だから、失敗したことを次に生かせばいいんです」と一・二年生に語りかけていたことが印象深く、私の記憶に残っています。

学校としても、そして保護者の皆さんも、「転ばぬ先の杖」となるのではなく、生徒諸君が何事にもチャレンジし、たとえそれが失敗に終わっても、許容できる学校文化というものを、共に創造していくことが、求められているような気がしてなりません。それでは具体的に何をするのか。そのことが大切なことですが、「乗り越えられそうな負荷」をかけながら、その負荷を乗り越えていったといった成功体験を積み重ねることや、一生懸命に行っても、「勝負の世界では必ず負けることがある」とことなどから学ぶ体験をすることが考えられます。

これからの北高生が、これまで同様に、否、さらに、「タフで心優しい人間として育って行ける学校」にしていけるように、保護者の皆さんとの連携を深めて行きたいと考えています。

話は変わり、学校の様子は、「校長日記」で、日々更新しておりますので、本校の公式ウェブサイトからご覧いただければ幸いです。

# P T A 講演会

平成29年度PTA講演会では、山梨大学医学部理学講座教授、副医学部長の小林修一氏をお招きして「脳科学者というお仕事」の演題で、講演をしていただきました。

最初に、どうして研究者の道に進むことになったのかというお話では、現高校生の多くが将来何をしたのか分からず、悩んでいるように、小林氏も同じように悩んでおられたとのことでした。



九州大学薬学部へ進学したものの、講義にあまり興味が持てず、博多ライフを楽しんでいた。そんな時、薬学の教授から「君には研究者の匂いがする」と言われ、研究の世界に飛び込む事になったそうです。

博士研究員として、ケンブリッジ大学で学んでいた時、身体の仕組みや病気の原因について

て、あまりにも分からない事が多く、愕然となり、研究をしないと、医学や科学の進歩は無いと、研究者の道を歩まされておられます。

次に、小林氏が研究されている、脳の働きについて、とても専門的なお話でしたが、映像を見ながら説明していただきました。脳の細胞の中で、百年間無視されてきた、グリア細胞に注目され、脳の病気は、グリアの異常から始まっているのだと、研究が進んでいるそうです。慢性の痛みやアルツハイマーなどで苦しむ人々を救える日も、そう遠くないのではと、期待も高まります。

最後に、小林氏からの言葉として、高校生の段階で自分

## アンケート結果

### 《アンケート項目と回答》

#### ①講演会はいかがでしたか？

|          |        |         |
|----------|--------|---------|
| 大変良かった   | 生徒 19% | 保護者 57% |
| 良かった     | 生徒 58% | 保護者 34% |
| まあまあ     | 生徒 22% | 保護者 9%  |
| もの足りなかった | 生徒 1%  | 保護者 0%  |

### 《保護者意見・感想》

- 脳の発達について、これまでの常識的な理論とは別の経験があり、それを追求するまでのご自身の経験や思いについて語られており、とても興味深かった。愛にあふれたアドバイスがとても良かった。
- 脳科学という仕事、未知の世界で面白い。「グリア細胞が病気のすべてとも言える」「ヒトグリアをマウスに移植したら賢いマウスになった！」これはすごい発見。
- 専門分野の話も素人にも分かりやすく聞きやすかった。ひとつの知らない世界の入り口を見れた。
- 趣味が研究という事が素敵。研究のお仕事を面白く楽しく感じられ、良いなあと思いました。
- 脳の働きについて学べ、グリアの存在を知ることができて良かった。
- 脳科学のお話を聞くチャンスが減多にないので、知識、興味の幅が広がられてよかった。人として生き方を選ぶヒントになる内容が良かった。
- 子供達が、進路を考える上でとても良いメッセージをいただき、参考となる内容でした。
- 将来進むべき道を迷っている娘にとって方向を示していただく事ができたと思います。
- 医学分野に進む子にとってだけでなく、高校生にとって分かりやすく、考えやすいお話しが良かった。
- 専門的な事+高校生の立場で将来を考えていくヒントになりそうなお話。家の子も、「研究者の匂い」が少しあるので、勉強になりました。

の適性に気付く人は殆どいません。自分の可能性や才能は、出会いで見つかったり、発掘される場合があるので、今日のこの出会いも含めて、出会いを大切にしたい。そして、他人の話を聞いて、考えて、消化して、最後は自分で決めるプロセスが大事だと言うことも教えて頂きました。講演をお聞きして、自分の将来を決めるうえで、何がきっかけになるのか分かりません。知らないことで壁を作らず、多様な職、多様な生き方を見つけて、各々が自分らしい人生を送ってほしいと思いました。

施設広報委員 小出ユミ子



# 前期 学校生活

## 生徒会長の任期を終えて

三年五組 成澤 俊樹

私が先輩方から生徒会を引き継いでから一年経ち任期を終えたとき思ったことは、何かを成し遂げようとする時、一人の力では限界があるということです。最大の生徒会行事でもある日輪祭は今年度五十周年であり、全校第九合唱は三十回目で、いろいろと節目になる年度でした。

そのため、今年の日輪祭は今までにない最高の日輪祭にしようと色々試行錯誤を繰り返しましたが、自分だけではない案は浮かびません。そこで役員を始め多くの人の意見を聞き、議論していくことでいい案が生まれました。また、準備においても、全校が最高の文化祭を創るという一つの志に向かって全員で行うことによって、当日、想像を超える煌めく瞬間が生まれたと思います。

自分一人では成し遂げられなかったことが成功したのは紛れもなく、全員の力が合わさった産物だと思います。

私はこの一年の経験から本当に人は人に支えられて生きているのだと痛感しました。私のような生徒会長でしたが、私を支え、協力してくださった全校の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。今後の北高生徒会の更なる発展を願っています。

## 前期と青春とおもひで

二年五組 高橋 遼二

前期にやったことと言えば、やはり、文化祭でしょう。みなさんは楽しみましたか。実は僕は軽音班の機材の関係であまり出店をまわれませんでした。ですが文化祭は一般公開だけではありません。準備から終わるまで文化祭です。個人的には前夜祭と合唱コンクールが楽しくて、高校生をしている気分になりました。全員が一つの目標に向かって頑張るということは素晴らしいことです。一番の青春だと思います。

ところで青春はなぜ青い春と書くのでしょうか。青という色は何だか清々しい色です。春というのは始まりの時期です。ということは青春は清々しい始まりの時代ではないでしょうか。だから彼女をつくるのも、勉強をするのも、運動をするのもその人にとって人生の清々しいスタートであれば青春なのです。前期には文化祭をはじめた皆さんのことがありました。その全てが今の僕を形づくっています。前期は僕にとっての青春です。

## 前期のふり返り

一年五組 真田 さゆり

入学してから約半年が過ぎました。この半年間は、高校生活の始まりとして、充実した日々だったと思います。まず、学校生活で最初に大変さを感じたのは勉強のことでした。春休みから取り組み始めた授業の予習をコツコツと継続するのは、想像以上に大変なことでした。授業の進みも速く、予習をしても授業についていくのが精一杯で、不安を感じました。しかし、友達の勉強方法を知ったり、生活リズムに慣れて、家庭学習の時間をうまく作れるようになったりする中で、自分のペースで勉強できるようになりました。また、授業中もクラスに活気があり、楽しく授業ができるので、分からない事を友達や先生に聞きやすいと感じています。行事では、文化祭や学習合宿などがありました。文化祭当日もとても楽しかったですが、当日までのクラス展の準備や合唱練習、班活動の発表練習も今から思うと忙しくもとても楽しく充実した時間でした。夏休み中には、理数科で野辺山の宇宙電波観測所や信州大学工学部に見学に行き、専門的なお話を聞くことができました。

このように、前期は新しい環境で大変さを感じつつも、多くの楽しい充実した時間を過ごせたと思います。後期も勉強と班活動を両立して頑張りたいです。



# 1学年 校外学習



## 2学年 松代見学



## 強歩 大会





# 日輪祭

施設広報委員 柳 祐史

今年も日輪祭の開催おめでとうございました。生徒も先生も家族も待ちに待った初日、豪雨に見舞われ驚きました。その中で、予定通りにはいかなかったかもしれませんが、工夫して模擬店を出店するところ等、生徒達のパワーを感じました。

大雨の中、学校見学に来た中学生に、優しく丁寧に展示の説明をする生徒の姿が印象に残っています。中学生にとってこういう風に勉強してみたいという興味深いひと時を過ごせたのではないかな、と思いました。

二日目は、かき氷があつて良かった、と感じるほどの暑さが戻り大勢の方が来校して賑やかでした。正面の美術班制作の看板が、青空の下で輝いていました。各発表もこの時のために練習を重ねてきた成果を充分に楽しませてくれました。そして、吹奏楽班の発表からは、元氣と笑顔をもらいました。どの教室の展示、発表からも目に浮かんでくることは、野沢北高校の生徒達が、やるべき事に正面からだけでなく多方面から取り組む姿でした。また、行き交う生徒達の笑顔ややり取りから日々の充実した高校生活がうかがえて爽やかな日輪祭でした。

# 日輪祭



# 合唱コンクールと第九合唱

施設広報委員 原田千恵子

7月2日、合唱コンクールと第九合唱がありました。合唱、第九を聴くのは今回で2回目ですが、子供たちの姿を見ることが出来る楽しみにしていた行事でした。

合唱コンクールは、どのクラスも限られた時間で頑張つて練習したことが分かる歌声で、重なり合うハーモニーがとても心地よく体育館に響いていました。目がしらが熱くなった保護者の方も多かったのではないのでしょうか。

コンクールなどどうしても順位がついてしまいますが、歌の得意不得意があるなかクラスが一つになり練習した時間は、順位には変えられない心の繋がりが出来た時間でもあったと思います。そして第九合唱。暑い中での長時間の練習、ソロの皆さんのプレッシャー、吹奏楽班の長期間にわたる練習。一回の本番のために、本当に大変な努力があつたと思います。

全校で取り組む第九は、北高生のパワーがみなぎり、迫力満点で圧倒されました。

文化祭で第九を歌う伝統は、他校では聞いた事がなかったので少し驚きでしたが、その第九合唱も今年で30回目と聞きました。この素敵な伝統がこれからも永く続いていくことを願っています。熱気溢れる演奏と歌声をありがとうございました。





# 班活動

## 水泳班

三年三組 小林 葵衣

わたしは今年の夏で十三年間続けてきた水泳を引退しました。今までの集大成となる年、競技を続けてきた中で一番つらく苦しくうまくいかない事ばかりでした。北信越大会でも目標としてきたインターハイへの出場を決めることができませんでした。悔しい気持ちはもちろんあります。でも周りの人への感謝もたくさん感じました。毎日一緒に練習してきたクラブのみんな、レースの時応援してくれた班員のみんな、二年間わたしをインターハイという舞台に連れていってくれたコーチ、緊張しているわたしにいつも声をかけてくださった山下先生、そして十三年間一番近くで支えてくれた家族に改めて大きな感謝を感じました。本当に多くの人に支えられてきたと実感しました。だいたいな水泳をだいたいな人達に支えられ続けてくれたわたしはとても幸せ者です！競技生活はわたしにとって一生の宝物です。みんなありがとう。最後に、後輩みんなの活躍を願っています。頑張れ野沢北水泳班！

## 陸上班

三年五組 坂根 遼太郎

2016年9月、私は左膝の半月板を損傷するという大ケガを負い、手術も受けた。オフの間のほとんどをリハビリに費やし、高校最後のシーズンに入った。急に運動のレベルを上げたために痛む足。そのせいかなかなか伸びない記録。万全とは言えないコンディションの中、北信越大会を迎えた。予選は通過できたが準決勝はギリギリだ。そして立ったスタートライン、心は落ち着いていた。「絶対に悔いは残さない。」そう思っただけでスタートした。最高の集中。風を切る。あつという間に訪れるゴールー

シーズンベストを大幅に更新する今シーズン最高の走りだった。やはりブランクは大きく決勝へは進めなかったが、やりきったと思った。ここまでやってきたことが次々と脳裏に蘇り、目が熱くなった。私の陸上人生は終わった。

今の自分があるのは陸上とそれを支えてくれた先生、仲間、そして親のおかげである。この感謝は絶対に忘れない。

## 棋道班

二年五組 古川 友暉

私は七月三十日から八月一日まで行われた、宮城総合文化祭囲碁部門長野県代表として出場してきました。ちなみに私は団体戦の副将として出場しました。

全国大会では様々な人を見ることができました。

## バドミントン班

三年二組 菊池 冴佳

チームの目標、個人の目標とともに達成するため日々練習に励んできました。苦しくてつらい時も乗り越えることができたのは多くの方々の支えがあったからです。

なかでも班活の仲間はとても大きな存在でした。日々練習内容について話し合い、時にはライバルとして切磋琢磨し、仲間がいたから成長でき、一人では困難な団体戦県大会出場の目標を達成することができました。そして技術面以外でもアドバイスをしてくださった先生方、い

た。やたらと長考する人、逆に考える時間が短い人、やたらと強い人など。私はこのような人達と打つことで、自分の実力を上げたり、自分の持っていない力を身に付けることができたと思います。

囲碁は昔からある日本の文化ですが、今長野県に碁を打てる人は大変少ないです。特に高校生で打てる人は昨年に比べ、人数が激減しました。囲碁を覚えることは、簡単ではありませんが、一度覚えてしまえば楽しい競技です。是非囲碁をやってみてください。

来年は長野県で総文祭が行われます。また長野県代表として出場できるように、日々力をつけていきたいです。

最後になりますが、今年の大会に連れてくださった先生や、応援してくださった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



## 女子ハンドボール班

三年三組 細萱 仁水

つも応援してくれる家族。感謝してもらいせん。本当にありがとう、ありがとうございます。

班活で得た経験を今後も生かして頑張りたいです。そして大好きなバドミントンも続けていきたいと思っています。

こんにちは、女子ハンドボール班です。私たちは夏の東信大会では秋の新人戦で大差で負けた上田高校に逆転勝ちをして優勝しました。県大会では屋代高校、長野南高校に次ぐ三位となり北信越に進むことができました。

これまで試合をしてきた中で最も印象深いのは、東信大会の決勝での上田戦です。前半で、上田の勢いにおされてしまい、4点差をつけられハーフタイムとなりました。4点差をかえすことはすごく難しいので少し焦りました。しかし、先生方からの言葉がチームを鼓舞してくれて強い気持ちで後半に入ることができました。後半のはじめは厳しい戦いとなりましたが、男ハンや保護者からの応援を力にしてラスト五分で逆転することができました。

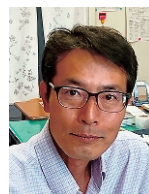
このことから、最後まであきらめずに強い気持ちで戦えば結果に結びつくとうわかりました。また、支えてくれる人がいることはすごく幸せなことだと感じました。ありがとうございます。

## 新しく北高にお見えになった先生方のご紹介



学校長  
田澤 直人先生

県教育委員会事務局高校教育課管理係から参りました。挨拶がよくでき、勉強に、また、班活動等の自主的活動に熱心に取り組む北高生を応援したいと考えています。



数学  
中根 靖先生

私は他県の出身で長野県の状況はよく知りませんでした。本校は地域の伝統校であり、多くの卒業生が各分野で活躍されていることを知りました。生徒たちは礼儀正しく落ち着きをもって日々の生活を送っているようです。私もそんな本校で、微力ながら頑張っていきたいと思っています。



事務室  
柳澤 浩先生

三校目の高等学校勤務になります。生徒の皆さんには、勉強やスポーツに日々真摯に取り組む、充実した高校生活と希望する進路を、是非とも実現してほしいと願っています。また、そのために多少でもお役に立てれば、と考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



理科  
松原梨沙子先生

今年度より野沢北高校で化学を担当している松原です。初めてのことで慣れないことも多いですが、まわりの先生方に支えてもらいながら日々学び過ごしています。温かい雰囲気野沢北高校でこれからも精進していきます。



数学  
高野 浩志先生

こんにちは。4月より大変お世話になっております。数学科の高野浩志です。野沢北高校の生徒は大変明るく、キラキラとして、非常に前向きであると感じております。少しでも多くのサポートができるように頑張ります。



保健体育  
箕輪 健二先生

野沢南高校から参りました。伝統ある北高の教壇に立てることを大変光栄に感じています。文武両道を旨とし日々自己研鑽に励む北高生のささやかなお手伝いができたらと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



保健体育  
三石 洋平先生

本校を卒業し、教員として北高に戻ってくることができました。何事にも一生懸命に頑張る姿をみて、いつもパワーをもらっています。みなさんの高校生活が充実したものになるよう、僕も元気いっぱい笑顔いっぱいで頑張ります。



校用技師  
志水 久夫先生

野沢北高校の生徒はおとなしすぎますね。今後大学に進む為に、常に目的、目標を持って学業に専念し社会に役立つ人間になって下さい。



学校司書  
水間美智子先生

学校図書館の勤務は初めてです。緊張の毎日ですが、生徒の皆さんの役に少しでも立てよう精一杯努力したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



国語  
赤羽根嵩人先生

五年前に本校を卒業し、教員として戻ってくることができました。勉強に班活にと日々努力している皆さんの手助けをしていければと思っています。よろしくお願いいたします。



事務室  
松井 健一先生

事務室の松井と申します。本校にきて毎朝生徒さんの気持ちの良い挨拶から一日が始まります。私にも高校生の頃があったと思うと昔日の感じがしますが、この年代はやりたいことあるいは自分でやると決めたことに向けて全力を尽くすことのできる貴重な時間だと思います。そのことが人間的な成長にもつながるのではないかと私は思っています。皆さんが「自分」という人間を大切に、同様に周囲の人も大切に、悔いのない高校生活をおくることを祈っています。

# 班活動の大会結果 (2017年4月～8月) ※長野県大会以上の結果を中心に紹介します

## 運動班

### ◆野球

#### <全国高校野球選手権長野大会>

本校1-2長野工業

### ◆陸上

#### <県大会>

(男子)

三浦央司 400m、800m  
坂根遼汰郎 110H 決勝3位  
荻原慧 110H、八種競技 15位  
中川輝 3000m障害  
市ヶ谷将孝 5000m競歩  
新海悠貴 三段跳  
新海・坂根・三浦・内堀  
400R  
坂根・内堀・中川・三浦  
1600R

(女子)

佐藤真由 400m、800m  
中村葵 400H  
櫻井裕梨 走高跳 14位  
梅田佳奈  
砲丸投 9位、円盤投 24位  
やり投 28位  
林実玲 やり投 23位  
安藤あかり 七種競技 14位  
青木・中村・三浦・佐藤  
400R、1600R

#### <北信越大会>

坂根遼汰郎 110H

### ◆剣道

#### <県大会>

(男子団体戦)

予選リーグ通過

決勝トーナメント進出

(女子団体戦)

予選リーグ通過

決勝トーナメント進出

### ◆ソフトテニス

#### <総体県大会>

男子団体

1回戦 本校2-1長野高専

2回戦 本校0-2大町岳陽

男子個人

神津・澤

1回戦 本校3-4唐沢・岡本  
(長野吉田)

女子団体 ベスト16

1回戦 本校3-0長野東

2回戦 本校0-2上伊那農業

女子個人

甘利・岡島

1回戦 本校2-4小坂・傳田  
(東海)

佐藤・塩澤

1回戦 本校4-2村石・池田  
(長野南)

2回戦 本校0-4桐山・榛葉  
(松商)

木村・末野

1回戦 本校0-4櫻井・北原  
(上農)

### ◆バスケットボール

#### <総体県大会>

(男子) ベスト4

本校78-64下諏訪向陽

本校77-56松本県ヶ丘

本校75-72長野吉田

準決勝

本校47-109東海大諏訪

3決

本校51-77佐久長聖

(女子)

本校70-88伊那西

### ◆バレーボール

#### <総体県大会>

(男子)

1回戦 本校0-2創造学園

(女子)

1回戦 本校0-2長野日大

### ◆ハンドボール

#### <総体県大会>

(男子) ベスト8

本校24-18諏訪清陵

本校15-43長野南

(女子) 3位

本校32-9坂城

本校28-15長野南

本校13-9上田

#### <北信越大会>

(女子)

本校10-27石川県小松市立高校

### ◆卓球

(男子)

本校1-3飯田OIDE長姫

男子ダブルス 山本・岡本

(女子)

本校0-3飯田女子

### ◆バドミントン

#### <県総体 S>

(男子)

磯部凌2-1高遠

磯部凌0-2大町岳陽

(女子)

湯浅ももな2-1辰野

湯浅ももな0-2蘇南

#### <県総体学校対抗>

本校1-3塩尻志学館

#### <国体県予選 D>

湯浅・白鳥0-2OIDE長姫館

#### <国体県予選 S>

湯浅ももな0-2蘇南

### ◆弓道

#### <総体県大会>

個人戦 篠澤知英

### ◆水泳

#### <県大会>

(男子)

児玉侑祐 50m自由形

100m平泳ぎ

神津貫太 200m自由形

50m自由形

森 星太 400m自由形

200m自由形

油井純貴 400m自由形

200m個人メドレー

岩崎淳司 200m個人メドレー

白鳥惇也 400m自由形

吉田全慶 200m個人メドレー

佐々木涼輔 200m個人メドレー

油井奎音 100mバタフライ

200mバタフライ

山本拓歩 100mバタフライ

400mリレー

400mメドレーリレー

800mリレー

(女子)

小林葵衣

200m個人メドレー 3位

400m個人メドレー 3位

小林萌笑

100mバタフライ 3位

200mバタフライ 3位

永原彩

100m背泳ぎ 4位

200m背泳ぎ 4位

#### <北信越大会>

小林葵衣

200m個人メドレー 7位

400m個人メドレー 5位

小林萌笑

200mバタフライ 7位

永原彩

100m背泳ぎ 8位

### ◆サッカー

#### <総体県大会>

本校1-6東海大諏訪

#### <選手権大会>

本校0-1飯田

## 文化班

### ◆棋道・将棋

#### <選手権大会>

男子A級

3-2佐藤雅大

予選リーグ2勝1敗

予選5位 決勝トーナメントへ

決勝トーナメント1回戦敗退

3-3工藤祐作

予選リーグ1勝2敗

予選40位

2-3大熊拓郎

予選リーグ1勝2敗

予選43位

2-4佐藤佑樹

予選リーグ1勝2敗

予選43位

男子B級

1-2小沢優貴

5勝2敗 12位

1-3畑 裕太

4勝3敗 25位

1-3高瀬真人

4勝3敗 30位

1-1篠原康平

4勝3敗 41位

(女子)

個人戦

2-1畠山理香子 3勝2敗 5位

### ◆棋道・囲碁

#### <第41回総文祭囲碁部門>

2-5古川 友暉

団体戦長野県チーム副将とし

て参加 3勝3敗 21位

### ◆英語

#### <長野県高等学校

レシテーションコンテスト>

8名出場

### ◆軽音楽

#### <第13回長野県高等学校軽音楽系

クラブ合同演奏会県大会

Power Live 2017 K (Z-Pre)>

### ◆吹奏楽

#### <長野県吹奏楽コンクール>

銀賞

## 編集後記

4月に新入生を迎え、2017年度も5ヶ月を過ぎました。学習はもちろんのこと、強歩大会、日輪祭、班活動と真面目に取り組む野沢北高生の姿に素晴らしいと感じております。今年の日輪祭、初日はあいにくの天候でしたが、生徒皆さんの生き生きとした表情にこちらまで楽しさが伝わってきました。特に最終日に行われたドイツ語での大合唱「第9」は、いま思い出しても胸がじんときつきます。今年で合唱30年と野沢北高の文化祭の伝統となっています。この素晴らしい伝統をこの先も継承していつてほしいと思います。若いうちは将来のことを言われてもピンとこないと思います。まずは目の前のことに全力で取り組んでみることに。高校生活で実行体験する全てのことがこの先の人生での糧になるものと信じています。これからの全てが未来の自分をつくるでしょう。仲間とともに学び、自分の興味のあることに挑戦し続けていくことを応援しています。

施設広報委員 深澤しのぶ

## PTA教養委員会主催行事のお知らせ

| 講師     | 場所         | 日時                                       | 内容   |
|--------|------------|------------------------------------------|------|
| 佐藤志穂さん | 野沢北高校 丘南会館 | 十一月十八日(土)<br>受付開始 十三時<br>笑いヨガ 十三時三十分～十五時 | 笑いヨガ |

## ～ご案内～

本校のホームページに支部PTA総会でのご意見・ご要望に対する回答を掲載しました。ご覧ください。